



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月9日

上場会社名 丸大食品株式会社

上場取引所 東大

コード番号 2288

URL <http://www.marudai.jp>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）百済 徳男

問合せ先責任者（役職名）常務取締役経理部長（氏名）澤中 義和

(TEL)072(661)2518

四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	48,182	△2.1	1,692	13.7	1,708	17.2	1,236	23.0
22年3月期第1四半期	49,218	△2.6	1,488	93.5	1,457	82.6	1,005	78.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	9.35	—
22年3月期第1四半期	7.60	—

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	116,452	61,975	52.3	460.78
22年3月期	115,294	62,231	53.2	463.40

(参考)自己資本 23年3月期第1四半期 60,947百万円 22年3月期 61,294百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	7.00	7.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	100,000	1.0	3,100	3.1	3,100	4.3	2,300	9.6	17.39
通 期	200,000	1.7	5,500	6.7	5,500	6.0	3,500	9.0	26.46

(注)当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期 1Q	132,527,909 株	22年3月期	132,527,909 株
② 期末自己株式数	23年3月期 1Q	257,278 株	22年3月期	256,031 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期 1Q	132,270,980 株	22年3月期 1Q	132,274,301 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、在庫調整の進展や海外経済の回復を背景とした輸出、生産の増加などから緩やかな回復を続けておりますが、失業率が高い水準で推移するとともに、欧州における財政問題の波及が懸念される等、依然として先行き不透明な状況が続きました。当食肉加工業界では、消費者の生活防衛意識による低価格商品志向の強まりや競争激化による販売価格の低下、食肉相場の低迷など、引き続き厳しい環境下にありました。

このような状況の中、当社グループは、「商品開発力の強化」「グループ経営の強化」「コスト競争力の向上」の3つの施策を軸とした企業活動を推進する一方、品質管理体制の一層の強化・充実を図り、消費者に信頼される「より安全で安心」な食品の提供に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間における売上高は、厳しい環境の影響等から、481億82百万円と前年同四半期比2.1%の減収となりました。利益面におきましては、コスト削減の効果などから、営業利益は前年同四半期比13.7%増の16億92百万円、経常利益は同17.2%増の17億8百万円、四半期純利益は同23.0%増の12億36百万円となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

①加工食品事業

ハム・ソーセージ部門は、平成22年モンドセレクション食品部門において3年連続で最高金賞を受賞した「燻製屋熟成ウインナー」や「いつも新鮮ロースハム」などの主力ブランド商品を中心に積極的な販売活動を推進いたしました。

調理・加工食品部門は、韓国風チゲ「スンドゥブ」などのレトルト商品の販売強化やデザート類での「Azumi Café珈琲ゼリー」などの新商品の投入により売上拡大を図りました。

一方、消費者の低価格志向の強まりや競争激化による販売価格の低下等から、当セグメントの売上高は、349億89百万円（前年同四半期比3億24百万円減収）、営業利益は、15億19百万円（前年同四半期比8百万円減益）となりました。

②食肉事業

食肉事業は、食肉相場の低迷や消費者の低価格商品志向に加えて、口蹄疫の発生など、当事業を取り巻く環境は非常に不安定な状況が続きました。この結果、当セグメントの売上高は、130億95百万円（前年同四半期比6億93百万円減収）となりましたが、営業利益は、輸入食肉販売の収益性が回復したことなどにより、1億31百万円（前年同四半期比2億1百万円増益）となりました。

③その他事業

その他事業の売上高は、97百万円（前年同四半期比18百万円減収）、営業利益は、41百万円（前年同四半期比10百万円増益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(連結財政状態)

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間末	増 減
総 資 産	115,294	116,452	1,158
負 債	53,062	54,476	1,414
純 資 産	62,231	61,975	△ 256
自 己 資 本 比 率	53.2 %	52.3 %	△ 0.9 %

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が23億19百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が17億49百万円増加したほか、原材料及び貯蔵品が15億47百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて11億58百万円増加し、1,164億52百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金が18億79百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べて14億14百万円増加し、544億76百万円となりました。

純資産は、四半期純利益12億36百万円の計上による増加がありましたものの、剰余金の配当金9億25百万円の支払や、その他有価証券評価差額金6億82百万円の減少などから、前連結会計年度末に比べて2億56百万円減少し、619億75百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し、52.3%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,567	248	△ 2,318
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 407	△ 840	△ 432
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 213	△ 1,731	△ 1,518
現金及び現金同等物の期末残高	4,959	8,295	3,336

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加による減少要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益の計上や仕入債務の増加などから、2億48百万円増加(前年同四半期に比べ23億18百万円減少)しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質の安定のための固定資産の取得による支出などから、8億40百万円減少(前年同四半期に比べ4億32百万円支出増加)しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の返済や配当金の支払いなどにより、17億31百万円減少(前年同四半期に比べ15億18百万円支出増加)しました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前第1四半期連結会計期間末に比べ33億36百万円増加し、82億95百万円となりました。また前連結会計年度末に比べて23億19百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成22年5月13日に発表の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

① たな卸資産の評価方法

たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定については、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降の経営環境等に著しい変化が認められないことから、前連結会計年度において使用した将来の業績予測等を利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計処理基準に関する事項の変更

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益は、それぞれ1百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は、38百万円減少しております。

2. 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,332	10,652
受取手形及び売掛金	21,601	19,852
商品及び製品	7,076	5,918
仕掛品	656	631
原材料及び貯蔵品	9,567	8,019
繰延税金資産	815	796
その他	1,175	596
貸倒引当金	△52	△48
流動資産合計	49,173	46,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,752	45,848
減価償却累計額	△29,475	△29,352
建物及び構築物(純額)	16,277	16,496
機械装置及び運搬具	42,623	42,429
減価償却累計額	△33,258	△32,820
機械装置及び運搬具(純額)	9,365	9,608
工具、器具及び備品	5,571	5,624
減価償却累計額	△3,593	△3,648
工具、器具及び備品(純額)	1,977	1,975
リース資産	7,625	7,585
減価償却累計額	△2,683	△2,422
リース資産(純額)	4,942	5,162
土地	19,565	19,641
建設仮勘定	122	58
有形固定資産合計	52,250	52,942
無形固定資産		
投資その他の資産	1,056	1,106
投資有価証券	8,151	9,281
長期貸付金	134	128
繰延税金資産	70	67
その他	5,959	5,689
貸倒引当金	△344	△339
投資その他の資産合計	13,971	14,826
固定資産合計	67,278	68,875
資産合計	116,452	115,294

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,291	18,411
短期借入金	909	987
1年内返済予定の長期借入金	8,158	8,244
未払法人税等	280	491
未払消費税等	352	487
リース債務	1,349	1,348
賞与引当金	1,810	1,065
その他	6,606	6,419
流動負債合計	39,757	37,454
固定負債		
長期借入金	9,157	9,423
繰延税金負債	894	1,271
退職給付引当金	521	516
リース債務	3,682	3,920
その他	462	476
固定負債合計	14,718	15,607
負債合計	54,476	53,062
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	21,685	21,685
利益剰余金	31,659	31,348
自己株式	△57	△56
株主資本合計	60,003	59,694
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,002	1,685
繰延ヘッジ損益	△5	3
為替換算調整勘定	△53	△87
評価・換算差額等合計	943	1,600
少数株主持分	1,028	936
純資産合計	61,975	62,231
負債純資産合計	116,452	115,294

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	49,218	48,182
売上原価	36,679	35,470
売上総利益	12,539	12,712
販売費及び一般管理費	11,050	11,019
営業利益	1,488	1,692
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	1	18
不動産賃貸料	47	46
その他	114	125
営業外収益合計	169	197
営業外費用		
支払利息	138	125
その他	62	56
営業外費用合計	201	181
経常利益	1,457	1,708
特別利益		
固定資産処分益	20	1
特別利益合計	20	1
特別損失		
固定資産処分損	21	32
減損損失	172	—
たな卸資産廃棄損	108	—
投資有価証券評価損	3	1
投資有価証券売却損	—	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	37
特別損失合計	305	72
税金等調整前四半期純利益	1,172	1,637
法人税、住民税及び事業税	196	248
法人税等調整額	△78	56
法人税等合計	117	305
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,331
少数株主利益	49	95
四半期純利益	1,005	1,236

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,172	1,637
減価償却費	1,445	1,486
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	8
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△126	△191
受取利息及び受取配当金	△7	△25
支払利息	138	125
固定資産処分損益(△は益)	0	31
減損損失	172	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	0
投資有価証券評価損益(△は益)	3	1
売上債権の増減額(△は増加)	△1,177	△1,759
たな卸資産の増減額(△は増加)	612	△2,728
仕入債務の増減額(△は減少)	291	1,872
未払消費税等の増減額(△は減少)	28	△134
その他	229	192
小計	2,786	516
利息及び配当金の受取額	107	129
利息の支払額	△66	△59
法人税等の支払額	△260	△339
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,567	248
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△8	△8
有価証券の売却による収入	—	0
固定資産の取得による支出	△638	△928
固定資産の売却による収入	395	11
その他	△156	84
投資活動によるキャッシュ・フロー	△407	△840
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	28	△96
長期借入れによる収入	735	—
長期借入金の返済による支出	△409	△352
リース債務の返済による支出	△381	△351
配当金の支払額	△661	△925
少数株主からの払込みによる収入	480	—
その他	△4	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△213	△1,731
現金及び現金同等物に係る換算差額	4	4
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,950	△2,319
現金及び現金同等物の期首残高	3,009	10,615
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,959	8,295

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

全セグメントの売上高の合計、営業損益の合計額に占める食品事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

① 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品を基礎とした製品別のセグメントから構成されており、「加工食品事業」及び「食肉事業」の2つを報告セグメントとしております。

「加工食品事業」は、ハム・ソーセージや調理・加工食品の仕入、製造及び販売をしております。「食肉事業」は、食肉の仕入、加工及び販売をしております。

②報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	34,989	13,095	48,085	97	48,182	—	48,182
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	213	213	△213	—
計	34,989	13,095	48,085	310	48,396	△213	48,182
セグメント利益	1,519	131	1,651	41	1,692	—	1,692

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第1四半期連結累計期間と同様の基準で算定した実績は以下の通りとなります。

前第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	35,314	13,788	49,102	115	49,218	—	49,218
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	194	194	△194	—
計	35,314	13,788	49,102	310	49,413	△194	49,218
セグメント利益	1,527	△70	1,457	31	1,488	—	1,488

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

③報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

(関連情報)

当社グループは、連結売上高の合計に占める国内の外部顧客への売上高の割合が90%を超えております。また、海外売上高は連結売上高の10%未満であります。

(参考情報)

製品別の売上高の状況は以下の通りです。

(単位：百万円)

区 分	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増 減
ハム・ソーセージ	21,422	20,901	△520
調理・加工食品	13,892	14,088	195
食 肉	13,788	13,095	△693
そ の 他	115	97	△18
連 結 売 上 高	49,218	48,182	△1,036

(注) 前第1四半期連結累計期間の金額は、当第1四半期連結累計期間と同様の基準で算定した製品区分見直し後の実績を記載しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
記載すべき事項はありません。